

国際協力人材の裾野拡大

- JICA海外協力隊（応募促進、帰国後報告会）
- 開発教育・国際理解教育支援事業
 - 【訪問プログラム】: なごや地球ひろばにて提供するプログラム、教育機関から社会人団体等までの幅広い利用あり(2021年度161件)
 - 【国際協力出前講座】: JICA海外協力隊の体験談等(2021年度94件)
 - 【国際協力実体験プログラム】: 高校生等を対象、参加型ワークショップを通じた体験プログラム(2021年度26人)
- 国際協力カレッジ
主に学生をターゲット層として実施
- 大学連携講座
JICA中部スタッフによる講座(ODAやJICA事業、国際協力におけるキャリア等について)
- 各種イベント、ブース出展
ワールド・コラボ・フェスタ、各県でのイベント等

団体のステージに併せた事業スキーム

団体の各ステージに合わせたスキームを提供することで団体の成長を促し、国際協力アクターの「裾野拡大」を目指している。

事業マネジメント研修
(計画・立案/モニタリング・評価)、現地調査実践研修(導入編/実践編)など。
「はじめの一步」を支援するあらゆるプログラムを提供。

100万円/1年間の規模で事業を実施。実際の実施にあたってはJICA(国内拠点・在外事務所)もサポート。
伴走支援者をつけることにより、団体の育成、NGO間ネットワーク化も期待。

「1000万円/3年間」～「1億円/3年間」の事業をJICAと実施。事業提案書の作成段階からJICA国内拠点にてコンサルテーションを適宜受付。

途上国で事業をしたいけれど…
何から始めよう…



研修で学んだことを小さい事業で試したい!!



事業をさらに発展・展開させたい!!

NGO等活動
支援事業

JICA基金
活用事業

草の根技術
協力事業

1. バディによる多文化共生の推進

- 2021年度バディセミナー初級編&入門編(197人参加)、2022年度実践編(7人)を開催。
- バディの冊子、動画も公開。

2. 多文化共生パートナー人材育成講座(NGOとの共催)

第一回:基礎講座(53人参加)

無意識の差別・偏見について理解し、自己を振り返り、気づきのプロセスを持つ

第二回:選択講座(26人参加)

- ①「学び、社会にでていく—進学、就学を考える」
- ②「働き、生計を立てる—労働の現場を考える」
- ③「地域で生きる—地域住民との関係、老いに向けて考える」

第三回:アクション発表会

第二回の選択講座グループで、課題解決に向けたアクションを検討

3. 教員向け研修

- 2021年度教師国内研修(多文化共生)

地域の課題を理解し、教育現場に活かすことを目的に実施

- 多文化共生研修(38人参加)

多文化共生を活かした学校・地域づくり(16人)

母語・継承語教育の必要性(9人)

DLA*を学ぶ(基礎)、DLAを生かす(実践)(13人)

*外国人児童生徒の日本語能力測定ツール

4. 日系社会研修(多文化共生推進/NIKKEI協力型)

- 日本国内の日系人集住都市に中南米から日系人を受入れ、小中学校、NGO、企業などで研修

- 研修を通じて、研修員が在日日系人をサポート、地域の多文化共生への貢献を期待

【2022年度実施している研修】

在日日系ブラジル人へのソーシャルワーク(岐阜県可児市)

日系ブラジル人とのカウンセリングを通じた多文化共生(愛知県豊橋市)

外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」で学ぶ複文化メディエーター研修(静岡県浜松市)

ラテンアメリカからの子どもたちのための日本語指導者養成(静岡県浜松市)